

## 生成 AI の業務活用の方法と飲料業界での展望

西本 匠  
株式会社 AlgoX 代表取締役社長

### 1. 要約

最新の AI 活用動向から飲料業界での活用の展望、費用対効果高く AI 活用を進める方法までをご紹介します。

### 2. 内容

#### 概要

急速に普及が進む生成 AI の業務活用の方法・事例と飲料業界での展望を紹介します。キリンや伊藤園、アサヒ、コカ・コーラなど大手飲料企業の事例をもとに、商品企画や CM 制作、研究開発、顧客体験の進化における AI 活用の最前線を解説。加えて、8 割の企業が AI 導入に失敗する理由を整理し、費用対効果を最大化する導入アプローチをご紹介します。

#### 詳細

##### 生成 AI の業務活用の動向

近年、生成 AI は文章・画像・音声・動画の自動生成にとどまらず、リサーチや資料作成、顧客対応、システム開発など幅広い業務領域に浸透しています。日本企業でも 9 割近くが既に導入済みで、利用者の約 6 割が週 5 時間以上の工数削減を実感するなど、生産性向上への寄与が明確になっています。

##### 飲料業界での生成 AI 活用事例

キリン様は社内向け AI ツール「BuddyAI」で 1.5 万人の従業員に展開し、生産性向上を実現。伊藤園様は生成 AI モデルをテレビ CM に活用。アサヒビール様は SNS 解析を通じた新商品企画で従来工数を 3 分の 1 に削減。コカ・コーラ様は消費者参加型広告を生成 AI で展開するなど、業務効率化とクリエイティブ強化の両面で成果が見られます。

##### 8 割の企業が AI 導入に失敗する 3 つの理由

- ① 自社に最適なユースケースを選べていない
- ② 汎用 SaaS 導入や独自開発でコストをかけ過ぎている
- ③ 現場のリテラシー不足により活用が進まない

この 3 点が大きな要因で、投資に見合った成果を得られない企業が多数を占めています。

##### 費用対効果高く AI 導入を進める方法

まずは小規模投資でユースケースを明確化し、PoC を通じて実績を積み上げることが重要です。戦略策定、人材育成、必要十分なシステム選定、ガバナンス構築を段階的に行うことで、投資回収可能性を高め、失敗リスクを抑えられます。

##### 株式会社 AlgoX の提供サービスのご紹介

AlgoX は AI 活用戦略コンサルティング、システム開発、AI 人材育成、メディア運営を一気通貫で提供。各社の課題に応じたオーダーメイド支援を特徴とし、研修から伴走型サポート、リスク対策まで網羅的に支援します。特に「成果創出に直結する AI 研修」を強みとし、実践的なユースケース創出に重点を置いています。